

支援だより

第4号



県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和7年2月



今回の支援だよりは、高等部の金沢シーサイド FM ラジオ出演について、地域支援研修会について、並木第一小学校との学校間交流について、ST コラムの4本立てです。

金沢シーサイド FM ラジオ出演について

金沢支援学校では、地元のローカルラジオ局「金沢シーサイド FM」との学校紹介レポートが今年度本格スタートしました。昨年度は3月に1回だけの実施でしたが、今年度は高等部3年生が中心となり、なんと年間7回の放送を実現！原稿作成やインタビュー練習など、初めての挑戦に生徒たちはドキドキ。でも、ラジオ局の方がリハーサルや優しい声かけをしてくれたおかげで、本番は大成功！自分たちの声が地域に届く喜びを味わい、大きな達成感を感じている様子でした。この活動を通じて、生徒たちの自信や新たな成長を実感しています。地域とのつながりが広がる素敵な経験となりました。



地域支援研修会について

12月11日（水）に本校の教員対象の地域支援研修会を実施し、地域支援チームを中心に各部門、学部をこえて、多くの教員が参加しました。研修では「学校と地域の繋がりについて」というテーマで、グループディスカッションを行いました。それぞれの部門、学年で取り組んだ、近隣校外学習等の好事例やその時の体験談を共有し、地域との繋がりを深めていくにあたり、必要なことを考える場となりました。

日頃の学校での教育活動の一つひとつが地域に繋がっている大切な取り組みであることを実感するとともに、引き続きご家庭で地域を活用した時の様子なども共有させていただきながら、共生社会の実現に向けて取り組みを進めていきたいと思ひます。

並木第一小学校との学校間交流について

12月16日（月）、小学部A部門児童全員とB部門4年生が、並木第一小学校4年生と交流をしました。前半は、小AフロアでA部門との交流を行いました。低学年クラスは、教員の三線に合わせてクリスマスソングを歌ったり、並一小のお友達に車椅子を押してもらってジャンケン列車をしたりしました。高学年クラスは、朝の会やラジオ体操をしたり、並一小のお友達から「ジングスカンをやりたい」という声が挙がって即興で踊ったりしました。どちらのクラスも大変にぎやかで、「何が好きなの？」等児童同士で会話を楽しむ姿が見られました。

後半は、体育館でB部門4年生も加わり、4つのグループに分かれて「ボッチャ」を行いました。1回戦は、並一小のお友達が作ってくれたペットボトルのピンをボッチャの球で倒す「ボーリングボッチャ」を行いました。【自分の名前】と【好きな〇〇（食べ物、遊び等）】を発表した後に投げていき、学校ごとに総数を出して楽しみました。「がんばれー！」という声援や、ピンを倒す度に「おー！」という歓声が上がってとても盛り上がりました。2回戦は、本当のボッチャに近いルールで、誰が一番白い球の近くに投げられるかを楽しみました。「もう1回やろう！」「またやりたい！」という声が次々に上がって、どのグループも時間の許す限り、繰り返していました。時間はあっという間に過ぎていき、最後に並一小のお友達が「意外と難しかった。」「楽しくできてよかった。」等の感想を発表してくれました。有意義な時間を過ごし、笑顔いっぱいの交流会になりました。



ST(言語聴覚士)コラム

今年度、金沢支援学校の教材で、音声ペンを購入していただきました。音声ペンは、ペンとそれに付属するシールとセットで使います。各シールに対応した必要な音声をペンに録音することで、そのシールをペンでタッチして音声を出すことができます。そのため、自主的にことばの学習を行ったり、意思表示をサポートしたり、簡単にオリジナル教材を作成したりすることができます。

教材例



きいろをさんまい
いれてください。